

地域と大学

第5号

Newsletter No. 5, Center for Education and Research of Lifelong Learning

コミュニティの振興と生涯学習

静岡大学情報学部教授 おおほり 大堀 さとし 哲

わが国は明治以来、国家の目標として「豊かさの量的拡大」を追求してきたが、これが達成されると徐々にではあるが、人々の意識に変化がみられるようになった。それはかつての経済、成長、産業を中心にしてきたものから、文化、生涯学習、環境、福祉といった、いわば生活に根ざした、より人間的なものに目が向けられるようになったということである。いまや「国家」から「地方」へ、そして「経済」から「人間」や「教育・文化」へといった方向へ、政治経済システムばかりではなく、日常生活レベルにまで様々なかたちで「主役の交代」がみられるようになったといえよう。

近年、自主性、無償性、公共性、先駆性などの性格をもつ「ボランティア」活動や、民間非営利組織の「NPO」の活動が格別に注目されるようになったが、これらの活動も前述のような人々の意識の変化を背景にしたものである。21世紀には我々が生活するコミュニティにおいて、生きがいや自己実現、そして社会貢献を求める傾向がより一層強まることが確実に予想されている。このため「地方の時代」と「自己実現の時代」を視野に入れた

ビジョンの提示と、それらを支援する政策、方法論を構想していくことが国としての課題である。これからのコミュニティの振興は、人々の生活文化に貢献し、自己実現の喜びを喚起するものに発展していくことが予想され、その中で生涯学習の果たすべき役割が益々重要になってくるのは間違いない。従って高等教育機関としての大学は、これまでもまして同一年齢の集団にのみ門戸を開放する体質から脱却し、生涯学習機関としてコミュニティ振興をリードしていくことが必要になっている。生涯学習教育研究センターに期待される役割・機能が大きくなるのは他言を要しない。



本学の生涯学習教育研究センターは、設立3年という短期間にもかかわらず、センター長のリーダーシップのもと、公開講座、シンポジウム等各種事業を積極的に展開し、地域に開かれた大学の窓口としての役割をよく果たしてきている。勿論、課題も少なくない。今後、生涯学習がコミュニティの成長・発展にどのように関わり、生涯学習に関する理論をコミュニティの振興にどのように具体化し戦略化すべきか、さらにコミュニティの振興に関する人材養成カリキュラムの開発研究とその展開、実践的なノウハウの提供や課題解決についての学際的な研究など、センター機能の更なる拡充が期待される。

(生涯学習教育研究センター教育研究担当教官)



生涯学習教育研究センター玄関（理学部B棟1F）

平成11年度 静岡大学公開講座が終了

今年度から静岡大学公開講座は、生涯学習教育研究センター公開講座委員会（委員長：センター長）において計画・実施することとなり、9月11日から11月6日にかけて実施いたしました。広報関

係に改良を加えてみましたが、受講者数の減少は、今年もくい止められませんでした。テーマ、広報、受講者層など問題点の検討を進めています。各会場の受講状況について以下に報告します。

	静岡会場	浜松会場	清水会場	沼津会場	熱海会場
期間(5回)	9/28~10/26	9/11~10/9	9/25~10/23	9/18~11/6	10/2~11/6
会場	アイセル21	工学部佐鳴会館	市中央公民館	市民文化センター	市中央公民館
実施時間	火・18:30~20:30	土・14:00~16:00	土・14:00~16:00	土・14:00~16:00	土・14:00~16:00
テーマ	静岡の自然と歴史	環境とリサイクル	東洋思想の 世界への発信	環境とリサイクル	東洋思想の 世界への発信
募集者数	80	80	80	80	80
受講者数	53	42	45	42	31
男/女比	41/12	28/14	19/26	14/28	12/19
平均年齢	58 男63 女52	55 男60 女49	57 男60 女55	58 男57 女59	59 男62 女57
今後受講 希望講座	歴史23 生物12	歴史10 経済7	心理18 歴史18	歴史12 心理10	歴史9 文学7
次回受講 希望	希望する 15 内容で考慮 20	希望する 14 内容で考慮 15	希望する 17 内容で考慮 14	希望する 15 内容で考慮 9	希望する 11 内容で考慮 8

開学50周年記念シンポジウムの開催

静岡大学開学50周年を記念して本生涯学習教育研究センターでは、県民の方々を対象に公開シンポジウム『大学と地域の豊かな共生を目指して—静岡大学・21世紀を考える—』を昨秋11月に実施いたしました。内容は以下のとおりです。

日時：平成11年11月14日(日) 13:30~16:30

場所：静岡市黒金町 静岡音楽館AOI 7階 講堂

基調講演：「生涯学習社会をいかにつくるか
—その中における大学の役割と変革—」
掛川市長 榛村 純一氏

パネラー：

大学と地域社会 榛村純一氏 (掛川市長)

県立大と静岡大の学术交流 星 猛氏
(しずおか健康長寿財団理事長、前静岡県立大学長)

私大と地域社会の交流 斎藤諦淳氏
(常葉学園大学長)

生涯学習と大学開放の方向 角替弘志氏
(常葉学園大学教授、静岡大学名誉教授)

県教育行政と大学への期待 太田幹晴氏
(静岡県総合教育センター長)

大学と地域ボランティア養成 大堀 哲氏
(情報学部教授、センター教育研究担当教官)

司 会 中井弘和氏

(学長補佐、農学部教授、センター教育研究担当教官)

シンポジウムには、110名の市民参加がありました。佐藤学長の挨拶のあと、生涯学習都市宣言を全国に先駆けて行った掛川市の榛村市長の基調講演があり、ユニークな生涯学習のまちづくりの披露と住民の意識改革への取組、その中での大学が地域にとけ込む必要性を述べられました。その後、中井学長補佐の司会で、各パネラーの大学への期待や現状からの脱皮などが語られた。会場からの質問も静大への期待が多く、今後も地域、大学共に開かれた大学へ意識を高めあうことが必要と司会者によってまとめられました。



開学50周年記念公開シンポジウム
「大学と地域の豊かな共生を目指して」会場風景

生涯学習教育研究センター事業（後期）の実施

平成11年度生涯学習教育研究センターの主催事業は、開学50周年記念事業のほか以下の事業を後期に実施いたしました。

1. 「学習ネットワークと生涯学習2」の開催

昨年度はメディア利用の学習の在り方をSCSを通じて意見交換を行いました。今年度は、社会福祉の観点からメディア利用の方法を探るSCS公開シンポジウムとして実施しました。特に石川准先生自身が自ら全盲の中で開発された視覚障害者向け、コンピューターソフトのデモは、参加者に深い感銘を与えました。

日 時：平成12年1月17日(月) 14:30～17:00

場 所：静岡大学附属図書館6階 SCSメディア
ルーム

事例報告：

研究報告1. 「アクセシビリティの政治」

石川 准 氏（静岡県立大学
国際関係学部教授）

研究報告2. 「協同学習・問題解決のための
コンピューター支援環境」

村山 功 氏（静岡大学教育学部 附属教育
実践総合センター 助教授）

研究報告3. 「福祉文化の創造と
生活者の学び合い」

平田 厚 氏（静岡県社会福祉人材センター
人材情報部長）

コーディネーター：角替弘志氏（常葉学園大学教授、
静岡大学名誉教授）

参加者：学生、一般35名

SCSネット参加大学：福島大、茨城大、筑波大、
京都大（霊長類研究所）、
大分大、宮崎大、琉球大



SCSメディアルームでの公開シンポジウム風景

2. 生涯学習指導者研修事業の開催

今年度から実施することとなった事業で、静岡県公民館連絡協議会と共催し、公民館での生涯学習推進員



研修事業でのセンター長あいさつ

や市町村の教育委員会で生涯学習事業を推進している職員を対象とした研修事業です。本学教官を講師とするほか、博物館、家庭教育に学外から講師を招請して実施しました。



研修事業受講風景

日 時：平成12年2月15日(火)～16日(水)

場 所：静岡県立焼津青少年の家
(焼津市石津2259-408)

研修内容：講義およびグループ討議

2月15日(火) 13:00～16:30、18:30～20:30

講義1. 「生涯学習社会の目指すもの」

角替弘志氏
(常葉学園学大学教授、静岡大学名誉教授)

講義2. 「生涯学習と博物館」

酒井一光氏 (大阪市立博物館学芸員)

2月16日(水) 8:20～15:00

講義3. 「社会教育史からみた生涯学習」

菅野文彦氏 (静岡大学教育学部助教授)

講義4. 「科学教育と生涯学習」

熊野善介氏 (静岡大学教育学部助教授)

講義5. 「家庭教育と社会教育の推進」

望月厚志氏 (川村学園女子大学助教授)

参加者：県内公民館主事、教育委員会社会教育主事等50名

平成11年度各学部等公開講座の実施状況

今年度の各学部等での公開講座は、以下のよう
に実施されました。センターで把握した内容の状
況を報告いたします。

○開学50周年記念公開講座静岡新聞・SBS文化スペシャル 「20世紀とは何だったか」

後期日程の開催(4回終了、これからの日程も掲載しま
した) 於: しずぎんホール・ユーフォニア13:30~15:30

- ① 1999. 8. 29(日) 2000年問題と電腦社会
情報学部 合庭 惇教授
- ② 1999. 10. 16(土) 20世紀のテクノロジーと未来
工学部 藤安洋、岡本尚道、上野晃史教授
- ③ 1999. 12. 4(土) 地球は世界人口を支えられるか
農学部 中井弘和教授、川口由一氏
- ④ 2000. 2. 19(土) 人類未体験時代の到来
人文学部 山脇貞司教授、上野桂子氏、渡辺のり子氏
- ⑤ 2000. 4. 22(土) 神と人間
人文学部 荒川 紘、松田 純教授
- ⑥ 2000. 6. 17(土) 持続可能な循環社会
工学部 荒木信幸教授
- ⑦ 2000. 8. 19(土) 20世紀は科学の時代
理学部 天岸祥光、石川勝利教授
- ⑧ 2000. 10. 21(土) 舞台は地球、テーマは人類
人文学部 小櫻義明教授ほか
- ⑨ 2000. 12. 16(土) ともに21世紀の扉を開けよう
佐藤博明学長ほか

○人文学部公開講座

平成11年10月22日(金)~11月19日(金)、5回
毎週金曜日 18:30~20:30
テーマ: 「老いを生きる」
会 場: 静岡市アイセル21 (市中央公民館)
受講生: 55名

○教育学部公開講座

- 1) 平成11年度公開講座「今、子どもに何が起
こっているのか」
平成11年7月24日(土)~8月28日(土)
毎週土曜日 13:30~15:30、5回

会 場: 附属教育実践総合センター3F 多目的ホール
受講生: 33名

2) 女性テニス教室
日 時: 平成11年9月6日~17日
日曜・祝日を除く7日間 9:30~12:30
会 場: 静大テニスコート
受講生: 9名

3) 附属教育実践総合センター公開講座
『教師のためのインターネット一日体験』
日 時: 平成11年12月19日(日) 10:00~15:00
場 所: 附属教育実践総合センター1F
情報教育 演習室
受講生: 約60名

○情報学部公開講座

「初心者のためのホームページ作成教室」
平成11年9月4日(土)、11日(土)
情報学部2号館マルチメディア演習室
受講生: 12名

○浜松城北キャンパス公開講座

「テクノフェスタ・イン浜松2000」
平成11年11月13日(土)~14日(日)
主 催: 静岡大学工学部、情報学部、電子工学研
究所、電子科学研究科、理工学研究科
会 場: 静岡大学・浜松城北キャンパス
部会テーマ
・おもしろ公開実験2000
・浜松キャンパスにおける研究室・研究設備の公開展示
・静岡大学工学部卒業生の活躍状況紹介(企業展示)
・大学生による公開実験・展示・模擬店
・高校生のための見学会
・高校生コーナー
両日合わせ入場者数約5,000人を集めて盛況でし
た。(柴垣、阿部)

研究紀要「生涯学習教育研究」への投稿募集

生涯学習教育研究センターでは、研究紀要掲載
の論文を募集しています。以下の投稿規程により
全学からの応募を期待します。奮って投稿下さい。

- 1) 生涯学習・社会教育関連の理論的・実証的研
究に関する未発表の学術論文等を掲載。
 - 2) 投稿資格は、本学及び共同教育研究施設の教
職員、センター研究員等。
 - 3) 投稿原稿量は、A4判46字×40行で16ページ。
 - 4) 投稿期限は、毎年11月末日。年1回3/31発行。
- 生涯学習教育研究センターホームページアドレス
は、<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~lckabe/cerll/>
です。

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開
講座実施情報、大学開放事業などをこのニュー
スレターに掲載し、広報します。新年度の計画、
将来の計画をセンターまでお寄せ下さい。
TEL/FAX 238-4817が資料室・受付です。

地域と大学 第5号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

平成12年3月31日発行

〒422-8529 静岡市大谷836 (理学部B棟1階)
静岡大学生涯学習教育研究センター
TEL 054-237-1111(代)
TEL/FAX
054-238-4817(資料室・受付)
事務局 静岡大学研究協力課共同施設係 TEL054-238-4264